

乳児クラス 遊びの様子 (秋～冬)

1歳児

保育者とのかかわりを基に、友達と関わることに少しずつ興味を持ち始めている1歳児の子どもたち。散歩先でも、友達と追いかけてこ等をする楽しさを感じる姿が見られています。

保: 見～つけた！



(おつ) た～！

友達とのやりとりを喜び、自ら関わるようになってきています

ばあ！



このやりとりを繰り返し楽しんで...

(みつけ)た～！

乳児は月齢差や個人差が大きいので、保育者との安心できる関係を基に一人一人の育ちを読み取り、環境設定や援助等を行っています。その年齢なりの気付きや発見(感じたこと)やその子なりの言葉や仕草・身振り手振りの表現を大切に、応答的な関わりをすることで、友達の存在にも少しずつ目を向けるようになっていたり、場を共有して遊ぶ姿も見られるようになってきています。

0歳児

0歳児の子どもたちは、保育者の温かな眼差しや関わりの下、活発に探索活動を行うようになり、様々なモノとの出会いや体を動かす遊びを自分なりに楽しむ姿が見られるようになってきています。

同じ場や玩具を共有しながらも一人一人がじっくりと遊び込むようになってきています



保: Yちゃんがんばれ～！



保: 渡るの上手～



一人一人の発達を踏まえ、環境設定や機会づくりをし、自ら体を動かしたり探索したりする姿が見られるようになってきました

保: 葉っぱ、カサカサしてるね～



その子の興味を探りながら、体や手のひら、指先など五感を通して自然の感触を味わえるように関わっています

ばあ！



保: こっただよ～